

つくば景観ルートマップ

Tsukuba Landscape Route Map



■本紙について

つくば市では、平成18年に、多くの人が美しく好ましいと感じる風景を「つくばの景観100」としてまとめ、これをもとに市内の景観を巡る景観見学会を毎年開催するなど、多くの市民のみなさんに紹介してきました。つくば市ならではの優れた景観を大切に、活かしていくことは、魅力的なまちづくりにとって欠かせない要素であり、市民がつくばの優れた景観を知り、大切にしようという気持ちを共有することが重要です。本紙は、景観見学会における見学地と平成30年3月につくば市景観条例制定10周年事業として開催した「景観シンポジウム～これからのつくばの景観を考えよう～」の講演内容とその資料をもとに、つくばの優れた景観を実際に体感してもらうため、ルートマップとして作成したものです。作成にあたっては市民団体のみなさんの協力のもと、延べ300ヶ所以上の景観スポットを調査してまとめました。

■つくば市の景観的特徴

つくば市は、筑波・稲敷台地と呼ばれる標高20～30mの関東ローム層に覆われた平坦な地形であり、南北に流れる小貝川、桜川、谷田川などの河川は、周辺の平地林、畑地あるいは水田と一体となって落ち着いた田園景観を形成しています。一方、市の中央部は、筑波研究学園都市として国家プロジェクトで計画された、29の公的研究機関が立地する高水準の研究と教育を行う為の拠点となっています。また、総延長約48kmにもおよぶペDESTリアンデッキ(歩行者専用道路)や、学園東大通り、学園西大通り等のゆとりある道路空間と緑豊かな街路樹がつながる、他市町村では見られないダイナミックな都市景観を形成しています。さらに、つくばエクスプレス(TX)の開業や首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の開通により、県南の拠点都市として多様な商業・業務施設の集積が進み、駅周辺には高層住宅が建ち並ぶなど、現在も成長し続けるまちの様子を見ることができます。

■つくば市の景観への取組

筑波山をシンボルとして、田園景観、筑波研究学園都市の風格ある景観、TXの開業や圏央道の開通などによって新たに作り出される景観など、地域それぞれに多彩で魅力ある景観が共存するつくば市は、景観法に基づく様々な施策を活用し、市独自の景観づくりを展開するため、平成17年8月に景観行政団体となりました。景観行政団体となったつくば市は、市民アンケートや庁内検討会などを経て、つくば市景観条例を平成19年6月に策定し、市独自の届出制度の運用を平成19年10月から開始しました。また、良好な景観を形成する上で重要となる屋外広告物については、TX沿線開発の進捗など、茨城県屋外広告物条例が制定された当時と市を取り囲む様相が大きく変化したことから、つくばに適した規制や許可基準を定め適正な誘導を行うため、平成24年7月につくば市屋外広告物条例を制定しました。そして、令和元年10月には同条例施行規則を改正するなど、変化・発展する街並みにあわせ、適切な規制誘導を行っています。

■まちづくり宣言

平成30年3月17日に開催した景観シンポジウムにおいて、まちづくり宣言を行い、今後一層景観まちづくりを進めていくことを表明しました。

地域が一体となった協働により、筑波山をはじめとする恵み豊かな自然や、万葉の時代から続く歴史と文化、筑波研究学園都市の街並み等、先人から引き継いだ資源を活かした美しい景観を実現するとともに、これらと調和のとれた観光振興により、故郷の景観を未来の世代へ継承します。



QRコードで閲覧可能



景観見学会の様子

表紙の写真について

つくば景観ルートマップ

Tsukuba Landscape Route Map

2	1	9	
3		8	
4		5	6

1 つくば中心市街地と筑波山 2 筑波山梅林
3 真瀬の田園 4 当時の面影を残すつくば道
5 小田新池と宝篋山 6 下広岡の谷津田 7 つくば文化会館前のモニュメント 8 つくばランタンアート 9 筑波山からの眺望(夜景)
※以上のポイントはマップに示しておりません。

▲ ROUTE 1 筑波山ルート

～多様な筑波山の景観～

万葉の時代から親しまれるつくばのシンボルを楽しもう！



① 春風台の街並み

景観緑地、ゆとりある住宅地、果樹園・菜園からなる、他に例を見ない「緑住農」という概念を取り入れた独特な街並みとなっている。住宅地でありながら田舎暮らしのような緑豊かでゆとりある居住空間を形成している。



② 小田城跡歴史ひろば

小田城跡は、鎌倉から戦国時代までに常陸国南部で最大の勢力を誇った小田氏の居城跡で、昭和10年6月に国指定史跡となった。ここからの筑波山は、小田城の借景として、山並の向こうにほの白く見えて美しく、中世に思いをはせることができる。



③ つくば道神郡の街並み

筑波山参詣で賑わった神郡上町には、今でも歴史ある街並みが残され、伝統的な集落景観が見られる。この道は、徳川家光の時代、中禅寺(現在の筑波山神社)再興のための資材運搬路として整備され、後につくば道と呼ばれて参詣道となった。



④ 燧ヶ池(ひうちがいけ)

つくば市沼田の一角にある三角形の池。土手にあるエノキの古木越しに見える筑波山は、言うまでもなく雄大で、周辺ののどかな水田風景に加え、秋には彼岸花が一面に咲き乱れることから、写真愛好家の人気スポットになっている。



⑤ 北部工業団地から見る筑波山

広々とした工業団地に雄大な筑波山が映える。一般的な工業団地と異なる快適さは、ここに立地する各企業と茨城県が協定を結び維持されている。沿道には幅10mを超える緑地の確保が義務づけられ、よく手入れされた植栽が工業団地の格調を演出する。



⑥ 西大通りから見る筑波山

筑波研究学園都市建設時に整備された幹線道路は、広い幅員に加え、筑波山を視線軸とする特徴的な道路景観を創出している。樹冠が広がり青々とした夏の季節でももちろんのこと、街路樹が剪定された直後には、見通す筑波山がいつにもまして存在感を放つ。



ROUTE 2 田園ルート

～平地に広がるのどかな景観～

昔ながらのつくばの田園風景と都会にはない広い空を楽しもう!!



① 鬼ヶ窪の田園

筑波山と宝篋山が織りなす山並みのスカイラインは、「筑波連山」とも言うべき雄大な姿で、地上にうねる耕作地の曲線とあいまって絶妙の風景である。まさに「つくばの丘」と呼ぶに相応しい。



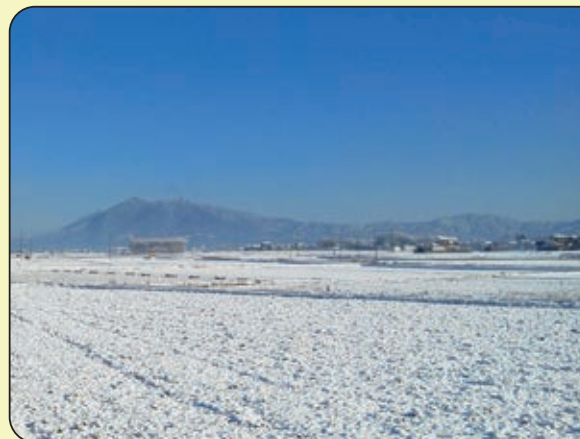
② 土田の芝畑

平坦な地形が多いことから、日本有数の芝の産地であるつくば。広がる芝畑の向こうには、均整の取れた筑波山の勇姿も望むことができる。この場所は、市街地からほんの数分歩くだけで着くことができ、田園都市つくばらしい景観となっている。



③ ゆかりの森

ゆかりの森の建物は、木材をふんだんに使用し、周囲の松に溶け込むようにつくられた木の香り豊かな宿泊施設である。特に宿舎「あかまつ」は、松林をデッキで取り囲んだ開放的な庭を設けており、全体が森と一体となった魅力を形成している。



④ 沼崎の田園

雪化粧の田園の向こう、筑波山から宝篋山まで連なる山々は、春夏秋冬を通じ田園の営みを見守ってきた。雄大で美しい山並みを見ると、長きにわたりつくばの人々に愛されてきた所以が分かる気がする。



⑤ 愛国橋から見る田園

つくば市の西端、愛国橋脇の堤防から見る筑波山の姿は格別に感慨深い。愛国橋を渡り小貝川を越え故郷つくばを出るとき、また、つくばに戻ったときに見るここからの田園風景と筑波山は、帰りを待つ家族のようにあたたかく、心やすらぐ存在である。



⑥ 小貝川

小貝川は、利根川に注ぐ一級河川であり、ゆったり流れるのが特徴。流域には貝塚があり、「小貝がたくさん採れる川」から「小貝川」に転じたとも言われる。川辺には自然豊かな河畔林が残り、春には菜の花が群生し、色鮮やかな風景となる。



ROUTE 3 TX沿線ルート

～新たな「つくば」の景観～

つくばエクスプレス(TX)開通に伴い形成された、つくばの新しい顔を楽しもう!!



① みどりの1丁目の街並み

条例に基づく無電柱化区域ではないが、電柱を建物の裏側に配置しているため、すっきりとした街並みが形成されている。工夫次第でまちの景観の向上を図ることができる一例である。背景にそびえる高層マンションが新しいまち「みどりの」を象徴している。



② 面野井から見るTXと筑波山

平成17年に開通したつくばエクスプレス(TX)。市内の大部分を高架上で走っているが、筑波山と併せて見られる場所は意外に少ない。ここ面野井からの景色はTXの車両がまるで筑波山の懷に吸い込まれていくようでユニークである。



③ 科学の門

1985年につくばで開催された科学万博を記念し、当時の会場を利用して作られた科学万博記念公園には、シンボルタワーを模して建てられたモニュメントがある。見る方向によって4人の異なる著名な科学者の顔が浮かぶ不思議な仕掛けが施されている。



④ 研究学園駅前の高層住宅群

TX沿線の開発に伴い、研究学園駅前には高層マンションやホテルが立ち並び、地域を取り囲む豊富な自然環境と調和した、田園都市の新しい表情をつくりだしている。街と自然のコントラストは中心市街地を連想させ、つくばらしさを醸し出している。



⑤ 学園の杜公園

研究学園駅周辺の開発で整備された新しい公園で、筑波山への視線軸を重視し設計されている。開発以前からこの地にあった桜並木を維持しており、春には雄大な筑波山に満開の桜が映え、とびきりの景観スポットとなる。



⑥ 研究学園駅前

まっすぐ筑波山の方角に向かう電柱の無い広々とした歩道は、研究学園駅に降り立つ人々に、つくばの新しい街を強く印象づける。この地域のまちづくりにおいては筑波山に向かう視線軸を重視しており、研究学園駅周辺の街路もこの視線軸に沿って整備されている。



ROUTE 4 学園都市ルート

～サイエンスシティの景観～

国家プロジェクトとして形成された風格ある街並みを楽しまう!!



① ペDESTリアンデッキ

南北に細長い形をした研究学園地区を背骨のように貫くペDESTリアンデッキ（歩行者専用道）の大幹線は、「つくば公園通り」と呼ばれている。立ち並ぶ樹木は、夏は緑陰をつくり、秋には色づき目を楽しませるなど、歩行者にとって大きな役割を果たしている。



② まつりつくば

まつりつくばは、自然・歴史・科学・多様な文化というつくばの魅力が凝縮した、市内最大の夏祭りである。つくばに長く住んでいる人々、新たに移り住んだ人々、そして、世界中から訪れる人々をつなぎ、つくばがもっとも賑やかになる瞬間である。



③ 国道408号線の街路樹

沿道に植樹されているモミジバフウは、すらりとして均整のとれた樹形は大通りを彩る街路樹にふさわしく、また、緑を豊かに大きく見せるため2本植方式が採用されている。真紅に色づいた紅葉が青空に映える晩秋の景観もまた必見である。



④ 小野崎から見た中心市街地

田園風景の向こうに、中心市街地の高層ビルが見えるのがこの場所の特色である。筑波研究学園都市の中心市街地からほど近く田園地帯が広がる景観は、まるで緑の海の中に浮かぶ島のように、自然と共生した都市つくばらしく、おもしろい。



⑤ 洞峰公園のイチョウ並木

100haを超える公園緑地をもつ筑波研究学園都市の中で、最大の面積を誇る洞峰公園は、広い芝生やプールを備え、休日には多くの人で賑わう。その中心にある洞峰沼と学園西大通りをつなぐイチョウは、秋には石畳の上に黄色い絨毯を敷き詰めるようで趣深い。



⑥ 学園東大通り

学園東大通りは、つくばの大幹線のひとつであり、日本の道100選に指定されている。つくばの幹線道路は、車道を周囲の土地より低くすることで、歩車道を分離し、歩行者の安全確保や、道路からの騒音を抑えるなど、多くの工夫が凝らされている。



ROUTE 5 水辺ルート

～水辺が織りなす自然景観～

牛久沼へとつながる河川景観、生活に密接した自然を楽しもう!!



① 泊崎大師堂から望む牛久沼

泊崎はつくばの最南端、牛久沼に突き出た岬である。弘法大師と縁深い大師堂とともに、茨城県が選定した100の景勝地、「茨城百景」となっている。高台から水辺に息づく自然や広い水面を眺めていると、つくば市の最南端までたどり着いたことを実感する。



② 生垣のある菅間の街並み

生垣のある家々がこれほどまでにつづく、潤いがあり一体感のある街並みは、市内でもなかなか見られない。生垣の維持に係る手間は相当であろうと思われるが、その努力に見合った、美しく優れた集落景観が形成されている。



③ 大井から見る筑波山

市南部から見る筑波山は随分小さくなるが、それでも宝篋山までしっかりと稜線を見ることができる。平坦な地形が多いつくばだからこそその景観であり、菜の花の奥にそっとたたずむ筑波山の姿はどこか優しげである。



④ 中山の桜並木

この並木道は、ここを開発した企業が、自然と地域との共生に配慮した緑豊かな環境を実現すべく、沿道の敷地に植栽したもので、その数は100本を超える。濃いピンクの花をつけるオオヤマザクラの見事な景観は、地域住民にも愛されている。



⑤ 稲荷川

稲荷川はつくば市内に源流を持つ河川で、付近を流れる谷田川に比べ川幅も狭く、ひっそりと流れている。高崎自然の森に近いこの辺りでは、川の両側に斜面林が帯状に連なっており、川沿いに里山の穏やかな風景がつづく。



⑥ 高崎自然の森

自然環境の保全と、人と自然のふれあいを目的に、高崎地域の平地林を市が管理し、開放している公園。四季の森、さくらの森、野鳥の森、水辺の森、あそびの森などエリアごとに様々な草木が育ち、季節折々に豊かな自然の営みを満喫することができる。

SPOT 桜のスポット

～はなやかな春の景観～

限られた時間だけの、色鮮やかで
美しいつくばを楽しもう!!



1 つくば道 一の鳥居

筑波山神社を目指すつくば道。一の鳥居が現れると高揚感が増す。この場所は毎年2度催される大切な神事「御座替祭」の神輿の出発地点である。参道として整備された江戸時代の風情が今も色濃く残り、学園東大通りと同じく、日本の道100選に指定されている。



2 つくば霞ヶ浦りんりんロード

筑波鉄道の跡地に整備された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」には、地元の有志によって植えられた桜並木が連綿とつづく。筑波山を眺めながら満開の桜並木を走るのはまさに爽快で、サイクリングや散歩、ランニングなど、多くの人に愛されている。



3 安食公民館

安食公民館前のしだれ桜。つくばの一本桜を代表する桜であり、脇に咲き誇るソメイヨシノとともに見応えがある。隣接する摩尼山一乗院本堂前にある老桜や、近くの地区集会所にある桜も一見の価値あり。いずれも伝統を感じさせる周辺の家並みとの調和が見事。



4 川口公園

川口公園は小貝川の恵まれた自然環境を活かした公園で、園内には池や滝、太鼓橋など水辺に関連した絵になる風景が多い。近隣の田園風景が眺望できる高台や、さわやかな風が心地よい芝生広場など、自然を愛でるのに最高の心安らぐ場所である。



5 研究学園駅前公園

TX研究学園駅の南側に位置する、総面積7.3haの公園にある大桜は、市内でも屈指の樹勢を誇る。園内には芝生広場やせせらぎ、古民家を移築した休憩所などがあり、地域住民の憩いの場となっている。また緑色の桜「御衣黄」など珍しい桜も植えられている。



6 農林団地の桜並木

つくば市有数の規模を誇るお花見スポット。約2kmにわたる桜並木は「農林桜通り」と呼ばれ、春の訪れとともに一斉に咲き乱れる。両側に約500本ある桜のトンネルは圧巻で、花見に訪れる人で賑わう。

つくば景観ルートマップ

0 1 2 3 4 5km

まち歩き時の注意事項

- ・景観の対象の多くは私有地が含まれています。他人の敷地内や田畑などに無断で立ち入ることは御遠慮ください。
- ・路上などに車をむやみに駐車しないでください。
- ・道幅の狭い場所では、事故の無いよう御注意ください。
- ・他人の迷惑になる行動は慎んでください。
- ・景観はいろいろな要因で日々移り変わっていきます。本紙にて紹介した景観もすでに変貌している場合があります。

SPOT 桜のスポット

～はなやかな春の景観～

限られた時間だけの、色鮮やかで美しいつくばを楽しもう!!

随翁院



山門、鐘楼、本堂が文化財となっている随翁院にある樹齢およそ200年のしだれ桜は、春一番に咲く。手厚い手入れのおかげで花付きが良く、威風堂々と咲き誇る桜の生命力に驚かされる。

- | | |
|-----------|---------------|
| つくば道 一の鳥居 | つくば霞ヶ浦りんりんロード |
| 安食公民館 | 川口公園 |
| 研究学園駅前公園 | 農林団地の桜並木 |

ROUTE 2 田園ルート

～平地に広がるのどかな景観～

昔ながらのつくばの田園風景と都会にはない広い空を楽しもう!!

A 今鹿島五斗時の田園



見渡す限りの広い田園に、すくっと立つ木立のシルエットが実に印象的である。どこまでも広がる大空と一面の緑を体感できる場所である。

B 真瀬の田園



小貝川の土手まで続く、約100haの広大な田園風景。見渡す限り緑の絨毯と大空が広がる。田植え直後の水田に写る夕日の美しさは、見る者を圧倒する。

- | | |
|-------------|---------|
| 1 鬼ヶ窪の田園 | 2 土田の芝畑 |
| 3 ゆかりの森 | 4 沼崎の田園 |
| 5 愛国橋から見る田園 | 6 小貝川 |

ROUTE 3 TX沿線ルート

～新たな「つくば」の景観～

TX開通に伴い形成された、つくばの新しい顔を楽しもう!!

A 万博記念公園駅前のモニュメント



1985年開催のつくば科学万博会場に設置された後保存されていたが、つくばエクスプレス開業に伴い万博記念公園駅前に移設された。作者はかの岡本太郎である。

B 学園の森の松並木



研究学園駅周辺の開発に伴い移転した自動車研究所のに植えられていたテラダマツの一群が保存されている。筑波山に向けてはぼ一列に並び、新しい街に風格を与えている。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 みどりの1丁目の街並み | 2 面野井から見るTXと筑波山 |
| 3 科学の門 | 4 研究学園駅前の高層住宅群 |
| 5 学園の杜公園 | 6 研究学園駅前 |

凡例

- 景観スポット
- ✿ 桜のスポット
- ➡ サンプルルート
- 125 国道
- 45 県道
- つくば霞ヶ浦りんりんロード
- 高速道路
- 鉄道
- 公園
- 市役所・出先機関
- 主要な観光地・施設
- 市街地

ROUTE 1 筑波山ルート

～多様な筑波山の景観～

万葉の時代から親しまれるつくばのシンボルを楽しもう!!

A 筑波山頂からの眺望



山頂からは眼下につくば道やりんりんロード、桜川流域の水田地帯が見渡すことができ、万葉の国見歌を思わせる景観である。晴天の日には富士山も見える。

B 中間間から見る筑波山



広大な水田や稲田の端の地平線から立ち上がる筑波山の山容は筆舌に尽くし難く雄大端麗である。まさに「東の筑波、西の富士」と言いたくなる景観で、稲田越しの景観が素晴らしい。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 春風台の街並み | 2 小田城跡歴史ひろば |
| 3 つくば道神郡の街並み | 4 燧ヶ池(ひうちがいはけ) |
| 5 北部工業団地から見る筑波山 | 6 西大通りから見る筑波山 |

ROUTE 4 学園都市ルート

～サイエンスシティの景観～

国家プロジェクトとして形成された風格ある街並みを楽しもう!!

A 中央公園池越しのつくばエキスポセンター



つくばエキスポセンターのプラネタリウムを擁するドームとH2ロケットは、中央公園の池越しが最高のアングル。今にも宇宙に向けて飛び出していきそうな感覚がしてくる。

B つくばセンタービル



高度経済成長期の近代建築にあらがう機運から生まれた、ポストモダン建築の代表作のひとつとも言えるつくばセンタービルに、ギリシャ神話のダフネの像が寄添う。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 ペDESTリアンデッキ | 2 まつりつくば |
| 3 国道408号線の街路樹 | 4 小野崎から見た中心市街地 |
| 5 洞峰公園のイチヨウ並木 | 6 学園東大通り |

ROUTE 5 水辺ルート

～水辺が織りなす自然景観～

牛久沼へとつながる河川景観、生活に密着した自然を楽しもう!!

A ふれあいプラザ展望室からの眺望



真っ青な芝生、黄金の水田、牛久沼に注ぐ谷田川とそこを渡る橋、帯状に伸びた平地林の地平線上に浮かぶ筑波山系の山並みは、絵に描いたように雄大で清々しい絶景である。

B 茎崎橋から見る谷田川



谷田川が牛久沼につながるこの辺りは、水面が大きく広がり、大河の流れのようになる。茎崎橋からの眺めは雄大で、橋の北側では天然の蓮が一面に自生し、夏の盛りには可憐な花を咲かせる。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 泊崎大師堂から望む牛久沼 | 2 生垣のある菅間の街並み |
| 3 大井から見る筑波山 | 4 中山の桜並木 |
| 5 稲荷川 | 6 高崎自然の森 |